

# 銚子ダムだより

第7号

平成18年12月

隠岐支庁県土整備局  
管理グループ

電話(合庁) 2-9752

電話(管理所) 2-4362

## フラッシュ放流実験を実施しました！！

平成18年11月6～8日(放流は7日)に実施しましたので、実験の結果をお知らせします。

### 1. 実験のながれ

#### ①事前調査：11月6日(月)

放流の前日に3箇所(寺の前水遊び場、御客橋、親水護岸)で事前調査(藻類やコケ類の付着の様子)を実施。

#### ②放流：11月7日(火)

午前10時から徐々に放流量を増やし午前11時半ごろに毎秒約3m<sup>3</sup>(立方メートル)に到達し、このまま約2時間放流を継続しました。

その後、午後1時30分ごろから約30分かけて、もとの放流量(毎秒約0.04m<sup>3</sup>)まで減少させました。

10:00 ~ 11:30

11:30 ~ 13:30

13:30 ~ 14:00

実験前

毎秒0.04m<sup>3</sup>

実験中

毎秒約3m<sup>3</sup>

実験後

毎秒0.04m<sup>3</sup>

#### ③事後調査：11月8日(水)

放流の翌日に3箇所(寺の前水遊び場、御客橋、親水護岸)で事後調査(藻類やコケ類の付着の様子)を実施。

### 2. 実験のようす

放流中のようす(毎秒約3m<sup>3</sup>)



放流バルブ室  
(ダム貯水池から取り込んだ水を放流する)



寺の前水遊び場



御客橋付近



親水護岸付近



#### ※フラッシュ放流とは？

変化の少ない流量が長い時間続くと、河床に付着した藻類や汚れなどがついたままとなり“よどみ”が発生します。これは、環境・景観に悪い影響をおよぼします。ダムで貯めている水を定期的に放流することによって、“よどみ”の発生を抑え河川をリフレッシュする効果があります。

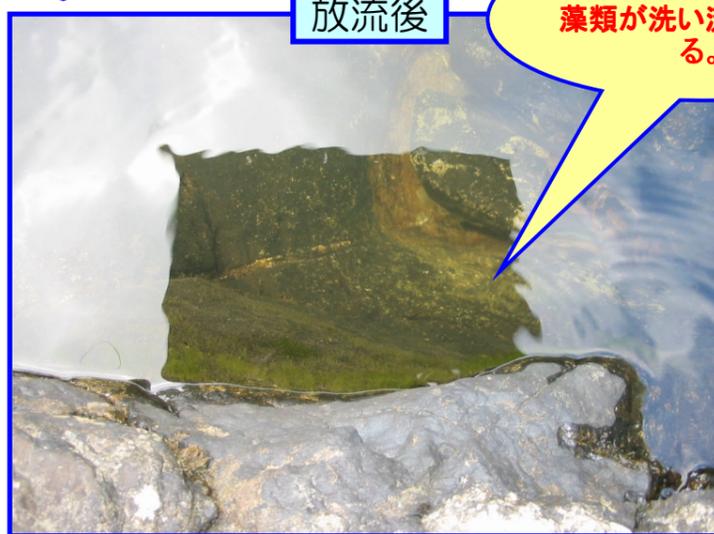
# 1. 実験のながれ

## (1) 寺の前水遊び場



陸上のコケ類はほとんど流されていない。

比較的付着力の弱い藻類が洗い流されている。



比較的付着力の弱い藻類が洗い流されている。

### 放流の効果について

1. 河床の岩盤に繁茂していた藻類が洗い流されている。  
(川底が明るくみえるようになっている)
2. 陸上のコケ類は色が黒くなっているが洗い流されていない。

### 今後の予定

平成19年度は、水質の悪化が予想される夏場の7月と、今年と同じく11月ごろの2回、放流実験を計画しますので、地元の皆様の御協力をお願いします。

11月5日、天候に恵まれた中ダム湖周辺を利用した！ウォーキングと芋煮会！が開催されました。



ジョギング



芋煮会

